

令和元年10月11日14時00分
資料配布 近畿地方整備局

整備局が発注した工事等を有識者委員が審議した結果を公表します。
～令和元年度「入札監視委員会（第2回）定例会議」の開催結果～

令和元年度第1四半期（4月～6月）発注の工事、業務、物品・役務から委員により抽出された案件について「入札監視委員会」で審議されましたので、その結果を別紙及びホームページで公表します。

令和元年度「入札監視委員会（第2回）定例会議」審議結果の公表

○別紙 「審議概要」 のとおり

○近畿地方整備局のホームページ

https://www.kkr.mlit.go.jp/n_info/watchdog_commission/ol9a8v000001mhy5.html

<参考>開催の概要

【第一部会】（河川・道路・公園・営繕など） 令和元年9月13日（金）10:00～
審議総件数 ＝ 8件（工事＝4件、業務＝3件、物品・役務＝1件）

【第二部会】（港湾・空港など） 令和元年9月17日（火）14:00～
審議総件数 ＝ 6件（工事＝2件、業務＝3件、物品・役務＝1件）

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
神戸海運記者クラブ 神戸民放記者クラブ みなと記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局

【第一部会】 TEL:06-6942-1141 （代表） 9:15～18:00

主任監査官 ^{みなみ}南（内線2114） 総務部契約管理官 ^{かまや}釜矢（内線2222）

企画部技術開発調整官 ^{ますだ}増田（内線3120）

【第二部会】 TEL:078-391-7576 （直通） 8:30～17:15

総務部契約管理官 ^{みちばた}道端（内線6311） 総務部経理調達課長 ^{たなか}田中（内線6310）

近畿地方整備局 入札監視委員会（令和元年度第一部会第2回定例会議）審議概要

開催日及び場所		令和元年 9 月 1 3 日（金） 大阪合同庁舎第 1 号館 第一別館 3 階 3 0 2 会議室				
委 員		神田 彰 （（公社）関西経済連合会 理事）・（今回抽出担当） 木村 亮 （京都大学大学院 教授） 高橋 司 （勝部・高橋法律事務所 弁護士）・（第一部会長） 横田 直和 （関西大学 教授） （五十音順、敬称略） （欠席） 熊谷 礼子 （帝塚山大学 教授）				
審議対象期間		平成 3 1 年 4 月 1 日 ～ 令和元年 6 月 3 0 日				
抽出案件 総件数 8 件（工事 4 件、業務 3 件、物品・役務 1 件）						
契 約 方 式		件数	件 名	契約日	契約業者名	契約金額
工 事	一般競争入札 (WTO 対象)	1 件	弘法川排水機場ポンプ設備 新設工事	R01. 6. 24	クボタ機工(株)	515, 900, 000
	一般競争入札 (WTO 対象外)	2 件	付替県道 1 4 号橋下部工事	R01. 5. 24	(株)佐々木土建	73, 656, 000
			猪名川河川事務所受変電・ 発電設備設置工事	R01. 6. 6	藤村電業(株)	101, 200, 000
	指名競争入札	1 件	京都農林水産総合庁舎本館 改修等工事	H31. 4. 18	(株)内田組	226, 800, 000
業 務	簡易公募型競争入札	1 件	気象予測業務	R01. 6. 10	(一財)日本気象協会	24, 959, 000
	公募型プロポーザル	1 件	阪神地域道路環境調査業務	R01. 5. 29	パシフィックコンサルタンツ(株)	101, 816, 000
	簡易公募型プロポーザル	1 件	淀川左岸線延伸部地質リスク検討業務	R01. 5. 24	(株)建設技術研究所	16, 720, 000
役務及び物品	企画競争入札	1 件	平城宮跡歴史公園第一次大 極殿院南門復原第一回特別 公開運営他業務	H31. 4. 22	(株)電通	9, 407, 000
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等		意 見 ・ 質 問			回 答	
		別紙のとおり			別紙のとおり	
委員会による意見の具 申又は勧告の内容		なし				

意 見・質 問	回 答
<p>【報告事項】</p> <p>■ 指名停止措置の運用状況（前回の補足説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 談合情報等の発生状況（前回の補足説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 四半期毎の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 指名停止措置の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履行不能による指名停止措置の説明資料に、完工すべきだった時期などの情報を明記した方が、行為の悪質度が分かり安いと思うが如何か。 ・落札決定後の契約辞退について、入札者は落札したか否かは分からないので、辞退届の提出のタイミングが難しいのではないかと。電子入札では直ぐに落札したか分かるのか。 <p>■ 談合情報等の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程表の酷似については、当事者が立証すべきなのか。 ・例えば、両当事者（代表者）が夫婦であると言うだけで、排除しても良いのでは。 <p>■ 再度入札における一位不動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 低入札調査対象工事・業務の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の資料からデータを入れることとしたい。 ・施工体制確認後に落札決定を行うので、入札後すぐに落札者が分かるということではない。 ・落札しているか否かにかかわらず、直ぐに辞退届を提出して貰っていたら、指名停止にもならず、また契約手続も続行できていたということである。 ・当該事案については、疑義が晴れないため排除することとなった。 ・排除に対し不服があれば、申立の手続きを取って頂くことになっている。 ・人的に近い関係であっても、独立していれば問題はないと考える。

<p>■一者応札の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■不調・不落の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■高落札率の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>・報告については了承とする。</p> <p>【審議】</p> <p>■抽出案件結果報告</p> <p>■抽出案件説明及び審議</p> <p>● 1. 一般競争入札方式(WTO 対象) (弘法川排水機場ポンプ設備新設工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札金額について、比較的ばらつきがある印象を受けたが、原因についての分析は。 ・無効となった 2 者のヒアリング辞退の理由は聞かないのか。見積に齟齬がある場合など辞退の理由を聞くことが有効ではないのか。 ・予定価格の積算に誤りはなかったのか。 ・本件は了承とする。 <p>● 2. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (付替県道 1 4 号橋下部工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域要件を嶺北地域に限っているが、考え方は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の機器の価格について、各企業の見積額がばらついたことが原因と考えられる。 ・膨大な資料の提出の後のヒアリングとなるため、そこまで無理して受注しないのではないかとと思われる。 ・受注した業者は、自信があったので、施工体制確認のヒアリングに応じたと思う。 ・何度もしっかり確認しているので、大丈夫である。 ・本工事は 1 億円未満なので、嶺北地域としている。2 億円以上の場合は、福井県全域となる。
--	--

<p>・福井県では、北陸新幹線等の大規模事業で、業者が難しい状況にあるが、資格要件について柔軟な対応が必要ではないか。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 3. 一般競争入札方式(WT0 対象外) (猪名川河川事務所受変電・発電設備設置工事)</p> <p>・入札価格のばらつきが、2～3グループに分かれているようだが、理由としては何が推測されるのか。</p> <p>・機器の価格ということであれば、通常カタログ価格の半値～4掛けとかになり、ほぼ同じような金額になるのではないのか。</p> <p>・受注実績づくりのためには、しばらく苦労が続くと思われる。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 4. 指名競争入札方式 (京都農林水産総合庁舎本館改修等工事)</p> <p>・入札額が「0」が並ぶ(まるい数字)が、最近では珍しいのでは。</p> <p>・2者が同額と言うことだが、細かいところまで、積算されるのではないのか。</p>	<p>・コリンズのデータによると、嶺北地域だけでも対象が22者あることを確認している。福井県全体でみても29者であり、さほど競争性が広がるわけではない。</p> <p>・福井では、新幹線・足羽川ダム・中部縦貫道路などで、トンネルや橋梁などの大きな工事が多いため、Cランクの業者は下請け受注となる場合もある。</p> <p>元請けとして受けたいとの強い思いに対しては、地域要件はあまり広げずに、受注機会を作ることが大事だと考えている。</p> <p>・機器の価格が大半であり、取引の関係で見積価格にばらつきがあると思われる。</p> <p>・チャレンジ型での発注であり、今まであまり参加していない業者だと、メーカーとの付き合い度合いの違いがあるのではないかとと思われる。</p> <p>・建築などの営繕関係では、けっこうキリの良い数字での入札が多い傾向である。</p> <p>・積算については、内訳書を提出頂き、予定価格の内訳との確認もしている。</p>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・当初の入札が不調に終わって、指名競争に移行したと のことだが、予定価格は変わっていないのか。 ・結果的に、6 者の指名で 4 者が辞退であるが、どうい う状況だったのか。 ・人気のない原因は、何が推測されるのか。 ・業者の選定結果のなかで、一者だけ技術評価点が「0」 があるが、なぜなのか。 ・本件は了承とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じです。 ・指名の段階では参加頂ける状況ではあったが、中々 人気がないというか応札が厳しい状況であったのだ と考えている。 ・地域的な面もあると思うが、工事の内容が新築では なく改修工事であり、金額的な面も人気がない原因だ と思われる。 ・民間の実績のみで、公共工事の実績がないためであ る。
<p>● 5. 簡易公募型競争入札方式 (気象予測業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この業務は、エンドユーザーとして車を使うための必 要な情報の提供ということか。 ・業務実績に対して、点数はつけるのか。 ・毎年、同じ業者が受注しているのか。 ・説明資料のシステム構成図に日本気象協会とあるの は、落札者としての日本気象協会のことか、それとも日 本気象協会のデータを使用する事となっていたのか。 ・本件は了承とする。 <p>● 6. 公募型プロポーザル方式 (阪神地域道路環境調査業務)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報サイトで公開し一般に提供すると共に、事 務所の担当職員の携帯電話に気象予測のメールが送 信されることになっている。 ・業務完了後に検査をして、成績に応じて加点してい る。 ・成績が良いと加点が多く優位に働くので、結果的に 同じ業者になっている。 ・当該資料は、落札者である日本気象協会の計画書か ら抜粋した資料である。

<ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 ・本件は了承とする。 <p>● 7. 簡易公募型プロポーザル方式 (淀川左岸線延伸部地質リスク検討業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価では良いと思うが、プロポーザル方式において技術評価点で満点が並ぶのは変な感じがする。差をつけないと、業者は納得しないのではないか。 ・結果的に採点が満点になるのは、客観性に欠ける。プロポーザル方式では、考えた方が良いのではないか。 ・同じ満点であっても、例えばテーマ1とテーマ2ではどちらかが少しウエイトが高いたかで差が出る様な考え方とかで評価してはどうか。 ・本件は了承とする。 <p>● 8. 企画競争入札方式 (平城宮跡歴史公園第一次大極殿院南門復原第一回特別公開運営他業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加申請者は1者だけだったようだが、想定ではどれくらい、ありそうと考えていたのか。 ・企画提案書の評価結果が全体的に低いようだが、どういう内容だったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれキーワードを設けて、チェックリストできっちり評価した結果である。 ・全者が満点になるのは、レアなケースである。評価項目については、杓子定規になっていないのかは、今後確認していく。 ・そういう事であれば、テーマ1とテーマ2で点数配分を予め変えておくことになる。 ・評価時に恣意性が働かないように、事前に評価内容を決めているので結果として同点になったと認識している。 ・7～8者程度を想定していた。 また、説明書の受け取りは3者あったが、参加しなかった業者に理由を確認した結果、参加資格としたイベント業務管理士1級が不在だったのが一者、他の業務を受注したとの理由が一者だった。 ・企業の業務経験及び能力ではワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標である認定がなかったこと、実施方針では工程に考え方の違いがあったこと、特定テーマに対する提案では独創性が低かったことによる。
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの様子、状況はどうだったのか。 ・ 本件は了承とする。 ・ 全体を通して何か意見はあるか。 ・ 審議事項についてはすべて了承とし、審議事項については終了とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記念式典の招待者は１００名、特別公開での入場者数は２日間で２，０００名であり、概ね思惑どおりの出来だった。
---	---

近畿地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 令和元年度第2回審議概要

開催日及び場所	令和元年9月17日（火） 神戸地方合同庁舎 3階 第6供用会議室		
委員	芥川真一（神戸大学大学院工学研究科教授 第二部会長） 渕 圭吾（神戸大学大学院法学研究科教授 今回抽出担当者） 米田和史（米田会計事務所 公認会計士・税理士 第二部会長代理） （五十音順）		
審議対象期間	平成31年4月1日 ～ 令和元年6月30日		
報告事項	①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不動状況報告 ⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 ⑥一者応札の発生状況報告 ⑦不調・不落の発生状況報告 ⑧高落札率の発生状況報告		（備考） ・①～⑧について、整備局資料に基づき説明を行った。
審議事項	総件数	（備考）	
①抽出案件	6件	[抽出件名]	
＜工事＞			
一般競争入札方式（政府調達協定対象）	1件	・大阪港北港南地区航路（-16m）附帯施設護岸（1）基礎等工事（第1工区） ・大阪港北港南地区航路（-16m）附帯施設護岸（1）基礎等工事（第2工区）	
一般競争入札方式（WTO対象外）	1件	・和歌山下津港本港地区防波堤（外）（2）災害復旧工事	
＜業務＞			
簡易公募型プロポーザル方式	1件	・舞鶴港港湾物流影響等検討業務	
参加者の有無を確認する公募手続き	1件	・港湾・海岸構造物におけるリサイクル骨材を用いたコンクリートの適用性の検討	
簡易公募型競争入札方式	1件	・大阪港北港南地区航路（-16m）施工環境調査	
＜物品役務＞			
一般競争入札方式	1件	・標識灯購入	

	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意 見・質 問	回 答
<p>【報告事項】</p> <p>①発注状況報告</p> <p>②指名停止措置の運用状況報告</p> <p>③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告</p> <p>④再度入札における一位不調状況報告</p> <p>⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p> <p>⑥一者応札の発生状況報告</p> <p>⑦不調・不落の発生状況報告</p> <p>⑧高落札率の発生状況報告</p>	

意 見・質 問	回 答
<p>【審議事項】</p> <p>1. 一般競争入札方式（政府調達協定対象）</p> <p>「大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸 (1)基礎等工事(第1工区)」</p> <p>「大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸 (1)基礎等工事(第2工区)」</p> <p>・第2工区は落札者なしだが、発注をやり直すのでしょうか。</p> <p>・再度発注した案件の契約額はいくらでしょうか。</p> <p>・入札額が調査基準価格を下回ったことは、予定価格が高かったのか、それとも参加業者の入札額に問題があったのでしょうか。</p> <p>・今年度の低入札価格調査基準の見直しと関係があるのでしょうか。もし、この見直しがあれば、低入札にならなかったのでしょうか。</p>	<p>・第2工区の工事内容のうち盛砂工を外し、工事内容を変更し再度発注手続きを行い、8月に契約に至っています。また、盛砂工は第3工区に含めて現在発注手続き中です。</p> <p>・約5億円です。</p> <p>・参加業者の受注したい意欲の表れか調査基準価格をわずかに下回る額で入札されています。第1工区も落札者以外の3者が同様の入札額となっており、公表している積算基準等をもとに各業者が努力して入札された結果と考えます。</p> <p>・今年度の見直しは、4月以降に公告を行う案件に適用されるもので、本案件と関係はございません。また、この見直しは低入札価格を引き上げる方向になるものです。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・工事实績の要件の説明は、海上工事でなくともいいということか。 ・調査基準価格と入札額の差が、予定価格の4万分の1程度であるが、その厳しさは必要なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上工事であることを求めており、砂材投入と石材投入の実績が、同一工事ではなく別件工事でもいいということです。 ・調査基準価格の設定は公表されているものであり、この取り扱いは必ず守らなければならないことです。
---	---

意 見・質 問	回 答
<p>2. 一般競争入札方式 「和歌山下津港本港地区防波堤(外)(2)災害復旧工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースによる対象者数が16者と少なく、要件設定が厳しいのではないのでしょうか。 ・和歌山県内に支店等が所在することと限定されているため、入札参加業者が少なかったのではないのでしょうか。 ・元々あった消波ブロックは、置きなおしせずにそのまま復旧させるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、防波堤の災害復旧であり、海上工事を伴うため、コンクリート製プレキャスト部材の据え付けを同種工事として設定し、また、発注標準がB等級のところをA等級(中小)まで拡大しました。若干少ないかもしれませんが、要件としては問題ないものと考えています。 ・地域の担い手に対して、受注機会を与えることは重要であり、また、災害時に地域の業者を使うことでより災害復旧に寄与することも考えており、この条件を設定しております。 ・置きなおす作業は、安全上のリスクもあるため、そのままの状態から消波ブロックを追加で据え付け、消波機能を維持できるような形にします。

意 見・質 問	回 答
<p>3. 簡易公募型プロポーザル方式 「舞鶴港港湾物流影響等検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務に参加表明をした業者には、どのような技術者がいるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務である事業効果の検討は、マニュアルに沿って、企業ヒアリングや資料収集など行いながら費用対効果の換算を行うものです。そのため、都市計画や港湾計画など計画業務が得意な業者であったり、技術者も経済に長けた者が多いです。

<ul style="list-style-type: none"> ・検討した事業効果の成果が想定どおりにならなかった場合に、業者が責任を負うことはあるのか。 ・このような業務では、何人の技術者が担当するのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務は、新規事業に着手する際に事業効果を分析するものであり、実際に事業を進める段階で再評価を行ったり、事業完了後には事後評価を行うこととなります。例えば、再評価や事後評価の際に、当初の分析が想定どおりでなかったとしても業者が責任を負うことはありません。組織として責任を持つものです。 ・複数の体制で企業ヒアリングを何社も行うので4～5人程度が担当することとなります。
--	--

意 見・質 問	回 答
<p>4. 参加者の有無を確認する公募手続き 「港湾・海岸構造物におけるリサイクル骨材を用いたコンクリートの適用性の検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾構造物の耐用年数は何年くらいでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常は50年です。現在は、環境への配慮のために鉄鋼スラグなどのリサイクル骨材を活用して耐用年数が保てるか検討しています。

意 見・質 問	回 答
<p>5. 簡易公募型競争入札方式 「大阪港北港南地区航路(-16m)施工環境調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者7者のうち4者が要件を満たさなかった理由は何でしょうか。 ・入札者3者の全てが低入札であったが、追加資料は技術点が一番高かった者のみ求めたのでしょうか。 ・水質調査を行う目的と、水質に問題があった場合の対策は何でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の入札手続きにおいては、一般競争参加資格の平成31・32年度の資格を審査する時期でもあり、入札公告でその資格審査を申請し受理された書類の提出を求めているが、それが提出されなかったためです。 ・追加資料は、全ての者に求めました。他の2者は出てこなかったものです。 ・海上工事を行う際に、濁りの発生や海底の有毒物質が浮遊することが考えられます。周辺海域では漁業も操業されており、水質の異常が周辺に影響を与えるような状況であった場合には、海上工事を一時中断するなどの判断根拠になります。

<ul style="list-style-type: none"> ・低入札であった入札額、調査基準価格をどれくらい下回っていたのでしょうか。 ・工事の低入札では、わずかの差で辞退されており、業務では辞退されなかったことの違いは何でしょうか。 ・工事の案件では、そういう受注希望を持たれた業者はいなかったということでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・40万円から80万円程度下回っていました。 ・業務の場合は、低入札に対しては履行確実性調査を行うが、工事も業務も基本的に低入札調査の考え方に違いはありません。この業者は、過去の受注実績がありノウハウも持っているうえ、この業務を受注したい強い意欲があることをヒアリングで聞き取っており、結果的に契約に至ったものです。 ・詳細は分からないが、色々なお考えがあって総合的に判断されたのではないかと考えられます。
---	---

意 見・質 問	回 答
<p>6. 一般競争入札方式 「標識灯購入」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格が高いものではないが、落札率が低い理由は何でしょうか。 ・例えば、建設会社に見積もりを出させると高い見積もりがあって、その半値や8掛けなど言われますが、本件の場合もそのようなことはあるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格は、見積もりを徴収のうえ算出していますが、見積額に各社の開きはさほどありませんでした。受注したい意欲で値段を下げられたのではないかと考えられます。 ・今回の発注時期が、年度末でもあり、たまたま生産ラインが空いていた場合であれば、受注意欲も出るでしょうから、時期がよかったのかもしれませんが。

意 見・質 問	回 答
<p>7. 全体を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近では、低入札が特に厳しく見られていると思いますが、低入札の発生状況に時期的なものなど何か傾向はあるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に年度や季節的な傾向はありません。相対的に見て、低入札の発生頻度が上がっているといったことはありませんので、状況に変化はないと考えています。